

[2016年10月24日]

鉄建建設株式会社 経営戦略室 広報部

東京都千代田区三崎町 2-5-3 〒101-8366

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-29379

建設技術総合センターで視覚障害者の鉄道体験会 ～模擬線路でホームの構造や列車非常停止警報装置などを体験～

■鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：林 康雄）は、10月19日（水）市原市福祉会館（館長：森 千枝美さま）による身体障害者の社会適応訓練に参加される視覚障害者10名（+介助者10名）を、建設技術総合センター（千葉県成田市新泉 9-1 野毛平工業団地内）に受け入れ、鉄道施設に実際に触れて安全に日常を送るための『鉄道体験会』に協力しました。当社では2011年より同様の取り組みで今までに3回、千葉県立千葉盲学校の生徒さんたちの体験学習に協力しており、今回は同校からの紹介を受けた市原市福祉会館から依頼をうけました。視覚障害者のホームからの転落など痛ましい事故が記憶に新しい中、実際の鉄道では触れて学ぶことがむずかしい、ホーム下の構造やレールとの位置関係を体感することや、非常停止ボタンや転落検知マット、踏切設備に触れることで、駅の構造や鉄道の仕組みを理解していただき、事故を防ぐことが目的です。視覚に障害のある方たちが安全に暮らせる社会を提供することも、当社の役目の一つと考え協力を行いました。

■鉄道体験会の内容

時間予定：10:00～ホーム設備体験、11:00～踏み切り設備体験／参加者：市原市内の視覚障害者 10名、介助者11名／協力：鉄建建設株式会社 建設技術総合センター 研修センター講師



杖でホームの高さを体感する参加者



ホーム下への非難を訓練する参加者



非常停止ボタンを操作する参加者



踏み切り設備の説明を受ける参加者

■参加者からは「普段できないことを体験できた。すべて初めてのことであったが大変勉強になった。」「実際に触れるなどして体験することで、始めて日々の助けになると思う。継続して体験会を開催してもらいたい。」などの感想をいただきました。市原市福祉会館 森 千枝美 館長からは「貴重な体験に有意義な研修をうけさせていただくことができました。心より感謝いたします。」とお礼のコメントをいただきました。

■建設技術総合センターでは、社員の研修だけでなく、他の企業や大学生などにも施設を提供しています。また、地域の皆さまや小学生を対象とした見学会などにも活用していただいています。今後も、幅広く施設を利用・活用していただき、地域や社会と共に存在する企業をめざします。

□建設技術総合センターについて

建設技術総合センターは「研究開発センター」と「研修センター」の二つの機能を有する当社保有の施設です。敷地内には各種研修設備のほか、延長約150mの本格的な複線線路（実習線）を有し、その両側には鉄道駅を模した実物のホームやエスカレーターなどの設備で構成されています。当社社員の研修だけでなく、同業他社や消防、大学などもこの設備を使用し、様々な研修や訓練・学習に活用していただいています。



建設技術総合センター（実習線とホーム）

以上